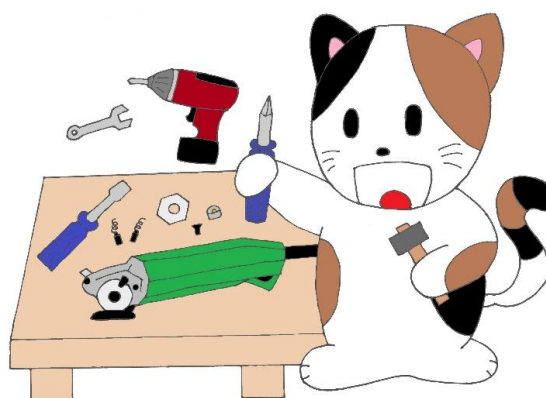


暦の上では立冬となり

日脚も短くなってまいりました。



繊維リサイクル

近年、繊維業界におけるリサイクルはサステナビリティへの関心の高まりを背景に、急速に重要性が増しています。ファストファッションの普及により衣類消費量が増加しており、世界で廃棄される衣類は年間約9200万トン以上とも言われています。廃棄物の多くが焼却や埋め立てされて、環境汚染に繋がるとされています。日本国内や海外企業では、既に様々な取り組みが実施されています。

ユニクロではダウンの回収からの再生プロジェクト、東レや旭化成でも循環型プロジェクトとして活動が進んでいます。海外ではH&Mが衣類を回収し、再生をすすめていたり、パタゴニアやノースフェイスなども、同じくリサイクルに力を入れています。今までは衣料から断熱材などのリサイクルが主流でしたが、今後は衣料から衣料への再生が本格的に導入されていくと言われています。これにはリサイクル原料の価格が安定してくる事や、リサイクル不可だった素材にも対応が可能となってきている背景があります。回収から再生までのビジネスモデルの確立や新規事業としての雇用拡大に繋がり、市場価値も大きく向上するのではと予測されます。

上記で述べた内容を、企業の取り組みとして活用していく上で、様々なアイデアや戦略があります。小売り(量販店・ブランド)と連携した常設回収BOXの展開、物流会社との連携による回収から選別までの中継地点の設立、各地域へ向けた回収企画のプレゼンなどが挙げられます。高級ブランドにおいても、再生素材の仕様が增加しており、リサイクル素材=安いというイメージから、サステナブル=価値のある商品となっていきます。衣類を捨てるという概念も、今後の業界像では無くなりゆくと言われており、今後リサイクル事業は新たな環境循環モデルとして確立されると思われます。

ご意見・お客様の声などありましたら御返信下さい

ニュースレターの配信がご不要の方は配信を止めさせていただきますので

お手数ですが、上記欄にFAX番号を記入の上ご返信して下さい。

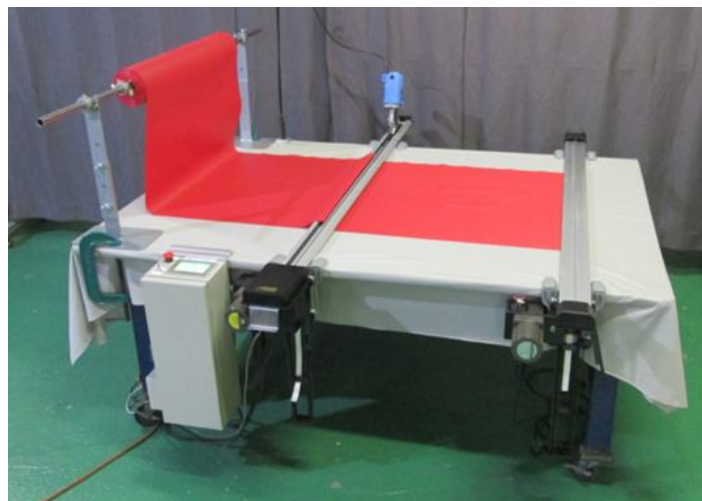
宛名に覚えの無い方も配信を停止しますのでFAX番号を記入してご返信下さい。

お名前だけですと停止手続きができない場合がございますので必ずFAX番号の記入をお願い致します。

製品紹介 自動式レイカッター

液晶タッチパネルによる簡単操作で、様々な素材を直線カットする事が出来ます。カッターの走行スピード及び走行距離は設定が可能です。素材に合わせてご使用いただく事が出来ます。裁断後には自動でレールが昇降しますので、その場に生地を積層する事が出来ます。最大20mmまでの厚みに対応しており研磨装置を内蔵しているの、切れ味を保ちながら裁断作業をする事が可能です。

当機はデモ機のご用意があります。是非ご利用になる際は連絡下さい。



動画紹介のQRコードです。
是非一度ご覧ください。

サ プ リ ナ 株 式 会 社
ニュースレター担当:長田 昂祐
TEL:0725-22-4801
FAX:0725-23-3486

<http://www.suprena.co.jp>